



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年10月25日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社コーエーテックモホールディングス
 コード番号 3635 URL <https://www.koeitecmo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 襟川 陽一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員CFO (氏名) 浅野 健二郎 TEL 045-562-8111
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	17,407	16.7	4,684	64.3	8,587	24.5	6,290	24.9
30年3月期第2四半期	14,916	△10.0	2,850	3.7	6,897	40.6	5,034	33.0

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 7,317百万円 (△10.6%) 30年3月期第2四半期 8,187百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	49.55	49.44
30年3月期第2四半期	39.75	39.63

(注) 当社は、平成30年10月1日付で普通株式1株につき1.2株の割合をもって株式分割を行っており、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	126,631	117,092	92.1	918.99
30年3月期	128,594	116,242	90.1	912.93

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 116,684百万円 30年3月期 115,897百万円

(注) 当社は、平成30年10月1日付で普通株式1株につき1.2株の割合をもって株式分割を行っており、1株当たり純資産は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	62.00	62.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

当社は、平成30年10月1日付で普通株式1株につき1.2株の割合をもって株式分割を行っております。そのため、平成31年3月期(予想)の期末配当金については、株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の平成31年3月期(予想)の期末配当金は60円00銭となります。

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	5.3	12,000	2.5	17,500	△4.3	12,500	△4.0	98.61

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当社は、平成30年10月1日付で普通株式1株につき1.2株の割合をもって株式分割を行っております。そのため、平成31年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式分割を考慮した額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は、118円34銭となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー 除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期2Q	129,268,048株	30年3月期	129,268,048株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	2,297,103株	30年3月期	2,317,094株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期2Q	126,956,732株	30年3月期2Q	126,671,343株

※平成30年10月1日付で、1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数及び期中平均株式数（四半期累計）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、平成30年10月26日（金）にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料の概要については、開催後当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の持ち直しや企業収益の改善により緩やかな回復が続いているものの、世界経済における通商問題や中東問題などにより先行きは不透明な状況となっております。

ゲーム業界におきましては、2018年度上半期の国内家庭用ゲーム市場は「Nintendo Switch」の販売台数が累計500万台を突破し、引き続き市場を牽引しております。9月に開催された「東京ゲームショー2018」では入場者数が歴代最多となり、期間内に行われた「eSports」大会では国別対抗戦が行われるなど盛り上がりを見せました。

このような経営環境下において、当社では当期より3ヶ年の中期経営計画を策定し、その初年度として「グローバルIPの創造と展開」「グローバルビジネスの飛躍」を経営方針に掲げ、各種施策に取り組んでおります。シリーズ7年振りのナンバリングタイトル『DEAD OR ALIVE 6』(PS4、Xbox One、Steam用)を、2019年2月に全世界同時に発売することを発表いたしました。9月に国内・アジア向けに、10月には欧米でもリリースした『無双OROCHI 3』(PS4、Nintendo Switch、Xbox One、Steam用)は、170の操作可能なキャラクターが登場し、「最も多い操作可能なキャラクターを持つハックアンドスラッシュゲーム」としてギネス世界記録に認定されるなど話題となりました。引き続きワールドワイドでIPの拡大に取り組んでまいります。

当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高174億7百万円(前年同四半期比16.7%増)、営業利益46億84百万円(同64.3%増)、経常利益85億87百万円(同24.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益62億90百万円(同24.9%増)となりました。スマートフォンゲーム等の運営収入やIP許諾等のロイヤリティ収入が増加したことで営業利益率が向上し、営業外収益についても安定した利息・配当金収入に加え有価証券売却益を計上し、計画を上回りました。その結果、第2四半期連結累計期間として売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益とも経営統合以来、最高の業績となりました。

セグメントの状況につきましては以下のとおりです。

エンタテインメント事業 売上高 156億54百万円 セグメント利益 41億82百万円

「シブサワ・コウ」ブランドでは、スマートフォン向けに『のぶニヤがの野望 ニャぷり!』(iOS、Android用)を8月に配信開始いたしました。当社がIPを許諾したタイトルでは、中国大陸をはじめアジアで累計登録者数650万人を超える『三国志2017』が、8月には国内でも『新三國志』(iOS、Android用)として配信され、ロイヤリティ収入が伸びました。

「ω-Force」ブランドでは、9月に国内・アジアで『無双OROCHI 3』(PS4、Nintendo Switch用)を発売し、31万本を販売いたしました。IP許諾タイトルでは、全世界累計1,000万ダウンロードを突破した『真・三國無双 斬』が9月に株式会社ネクソンより国内で配信開始され、国内セールスランキングにおいてApp Storeで11位、Google Playで10位(出典: App Annie)に入るなど収益に貢献いたしました。

「Team NINJA」ブランドでは、『仁王 Complete Edition』のリピーター販売が堅調に推移しております。株式会社スクウェア・エニックスと共同で開発し、グローバルで配信中のスマートフォンゲーム『DISSIDIA FINAL FANTASY OPERA OMNIA』が国内セールスランキングにおいてApp Storeで15位、Google Playで18位(出典: App Annie)に入るなど引き続き好調に推移しております。

「ガスト」ブランドでは、オリジナル版をベースに追加要素を収録したデラックス版として「アトリエ アーランド」シリーズ3部作を発売いたしました。

「ルビーパーティー」ブランドでは、『金色のコレダ3 フルボイスSpecial』(PS Vita用)、『金色のコレダ3 AnotherSky feat. 神南/至誠館/天音学園』(PS Vita用)を発売いたしました。イベント事業では、立体映像表現を用いたバーチャルライブや「ネオロマンス・フェスタ 金色のコレダ ~15th Anniversary~」を開催し、観客動員数は4万人となりました。

「midas」ブランドでは、引き続き新規スマートフォンゲームの開発に注力しております。

以上の結果により、増収増益を達成いたしました。

SP事業 売上高 7億20百万円 セグメント利益 2億64百万円

当第2四半期においては『ぱちんこCR真・北斗無双 第2章』など2タイトルがリリースされました。パチンコ・パチスロ機への液晶ソフト受託開発は順調に進捗し、増収増益となりました。

アミューズメント施設運営事業 売上高 7億39百万円 セグメント利益 64百万円

大型景品搭載のプライズゲーム機の導入により既存店売上高が増加し、黒字転換いたしました。

不動産事業 売上高 3億93百万円 セグメント利益 1億47百万円

当社グループが保有する賃貸用不動産は引き続き高い稼働率を維持しております。

その他事業 売上高 77百万円 セグメント利益 25百万円

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して19億62百万円減少し1,266億31百万円となりました。これは主に、投資有価証券が39億76百万円、売掛金が13億57百万円それぞれ減少した一方で、有価証券が29億56百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して28億11百万円減少し95億39百万円となりました。これは主に、その他流動負債に含まれている預り金が12億56百万円、未払法人税等が8億63百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して8億49百万円増加し1,170億92百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が10億53百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年4月26日に公表した通期の連結業績予想は変更しておりません。今後、業績予想数値に修正が生じる場合はすみやかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,626	8,130
受取手形及び売掛金	8,978	7,621
有価証券	—	2,956
商品及び製品	115	120
仕掛品	30	29
原材料及び貯蔵品	45	70
その他	2,885	1,964
貸倒引当金	△11	△8
流動資産合計	18,671	20,886
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,746	10,475
土地	14,615	14,615
建設仮勘定	3,531	3,522
その他(純額)	520	490
有形固定資産合計	29,413	29,103
無形固定資産		
その他	190	162
無形固定資産合計	190	162
投資その他の資産		
投資有価証券	78,938	74,961
繰延税金資産	473	469
退職給付に係る資産	—	89
その他	906	958
投資その他の資産合計	80,317	76,480
固定資産合計	109,922	105,745
資産合計	128,594	126,631

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	843	608
未払金	1,185	1,202
未払法人税等	3,426	2,563
賞与引当金	1,043	1,002
役員賞与引当金	168	101
返品調整引当金	0	0
売上値引引当金	475	371
ポイント引当金	19	17
受注損失引当金	595	380
その他	3,268	1,968
流動負債合計	11,027	8,216
固定負債		
退職給付に係る負債	57	—
繰延税金負債	429	514
その他	836	808
固定負債合計	1,324	1,322
負債合計	12,351	9,539
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	26,175	26,194
利益剰余金	73,269	73,000
自己株式	△1,266	△1,256
株主資本合計	113,178	112,938
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,885	5,938
土地再評価差額金	△3,115	△3,115
為替換算調整勘定	997	974
退職給付に係る調整累計額	△48	△51
その他の包括利益累計額合計	2,719	3,746
新株予約権	345	407
純資産合計	116,242	117,092
負債純資産合計	128,594	126,631

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	14,916	17,407
売上原価	8,553	9,027
売上総利益	6,362	8,379
販売費及び一般管理費	3,511	3,695
営業利益	2,850	4,684
営業外収益		
受取利息	1,138	880
受取配当金	796	1,547
投資有価証券売却益	2,411	2,584
為替差益	—	179
その他	291	175
営業外収益合計	4,637	5,366
営業外費用		
投資有価証券評価損	1	1,378
投資有価証券売却損	101	0
有価証券償還損	414	—
為替差損	44	—
その他	30	84
営業外費用合計	591	1,462
経常利益	6,897	8,587
税金等調整前四半期純利益	6,897	8,587
法人税、住民税及び事業税	1,781	2,688
法人税等調整額	81	△391
法人税等合計	1,862	2,297
四半期純利益	5,034	6,290
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,034	6,290

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	5,034	6,290
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,783	1,053
為替換算調整勘定	374	△22
退職給付に係る調整額	△5	△3
その他の包括利益合計	3,152	1,027
四半期包括利益	8,187	7,317
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,187	7,317

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	エンタテインメント	S P	アミューズメント 施設運営	不動産	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	13,349	463	681	389	14,884	31	14,916
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	60	0	—	—	61	50	111
計	13,410	463	681	389	14,946	82	15,028
セグメント利益又 は損失(△)	2,645	145	△131	168	2,827	23	2,850

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ベンチャーキャピタル事業等を含んでおります。

2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,827
「その他」の区分の利益	23
四半期連結損益計算書の営業利益	2,850

(注) 資産については、セグメントごとの配分は行っておりません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	エンタテインメント	S P	アミューズメント 施設運営	不動産	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	15,538	720	739	393	17,392	15	17,407
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	116	0	—	—	116	62	178
計	15,654	720	739	393	17,508	77	17,586
セグメント利益	4,182	264	64	147	4,659	25	4,684

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ベンチャーキャピタル事業等を含んでおります。

2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,659
「その他」の区分の利益	25
四半期連結損益計算書の営業利益	4,684

(注) 資産については、セグメントごとの配分は行っておりません。

(重要な後発事象)

株式分割

平成30年7月23日開催の取締役会決議に基づき、平成30年10月1日付で株式分割を行っております。当該株式分割の内容は、次のとおりであります。

1. 株式分割の目的

当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げ、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整えるとともに、株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としております。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

平成30年9月30日(当日は株主名簿管理人の休業日となるため、実質的には平成30年9月28日)を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有普通株式1株につき1.2株の割合をもって分割いたします。ただし、分割の結果生ずる1株未満の端数株式は、これを一括売却し、その処分代金を端数の生じた株主に対し、その端数に応じて配分いたします。

(2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	107,723,374株
今回の分割により増加する株式数	21,544,674株
株式分割後の発行済株式総数	129,268,048株
株式分割前の発行可能株式総数	350,000,000株

(注) 株式分割後の発行可能株式総数は、分割以前と同数であり、今回の株式分割における定款の変更はありません。

3. 株式分割の日程

基準日公告日	平成30年9月14日
基準日	平成30年9月30日(実質的な基準日は平成30年9月28日)
効力発生日	平成30年10月1日

4. 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
1株当たり四半期純利益	円 銭 39.75	円 銭 49.55
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	39.63	49.44